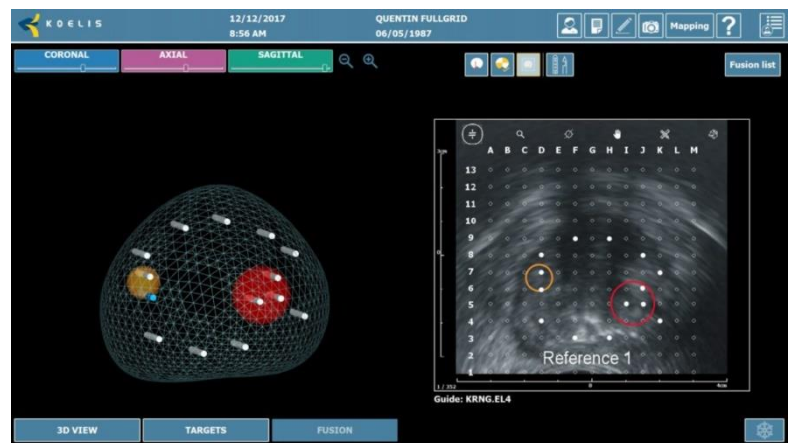


[MRI-超音波画像融合前立腺標的生検]

MRI-超音波画像融合前立腺標的生検は、従来の系統的生検と比べ、より正確にがん病変を診断できるとされています。従来の前立腺生検は、超音波を観察しながら前立腺全体を均等に穿刺して組織を採取する検査法でした。他方、MRI-超音波画像融合前立腺標的生検は、事前に撮影したMRI画像と術中超音波とを融合することで、がんが疑われる部位をリアルタイムでより明確に可視化した状態で穿刺を行う方法です。それに伴い、超音波ガイド単独以上の高い感度および特異度をもって正確な治療計画の立案が可能となり、また、過剰治療や不必要な再生検を回避することで患者さんの負担軽減に繋がると考えます。当院では、2022年11月より、Koelis社のTrinityによるMRI-超音波画像融合前立腺標的生検を健康保険診療として実施しています。



(Koelis 社ホームページより)